

-
- 2023 年度活動報告（業務日程・会計）
 - 2024 年度助成報告
 - 2024 年度助成金贈呈式
 - 2024 年度研究助成課題一覧
 - 2024 年度国際交流助成一覧
 - 2024 年度国際会議開催助成一覧

2023 年度活動報告

1. 主要業務日程

2023 年 4 月	2023 年度後期国際交流助成の募集開始 2023 年度国際会議開催助成の募集開始 第 8 回立石賞の募集開始
5 月	2023 年度助成金贈呈対象者決定のニュースリリース 2023 年度助成金贈呈式の開催 第 67 回理事会の開催 ・ 2022 年度事業報告および決算承認
6 月	第 68 回理事会の開催 ・ 株主権行使の承認など 第 28 回評議員会の開催 ・ 株主権行使の承認 ・ 2022 年度決算承認
8 月	2024 年度研究助成 (S) の募集開始 2023 年夏季選考委員会の開催 ・ 2023 年度後期国際交流助成および国際会議開催助成の選考
9 月	2024 年度研究助成 (A) (B) (C) の募集開始 第 69 回理事会の開催 ・ 2023 年度後期国際交流助成採択候補の承認 ・ 2023 年度国際会議開催助成採択候補の承認
10 月	2023 年度後期助成金贈呈対象者決定のお知らせ 2024 年度前期国際交流助成の募集開始 助成研究成果集【第 32 号】(2023 年) 発行 2023 年度研究助成成果発表会の開催
2024 年 1 月	2024 年冬季選考委員会の開催 ・ 第 8 回立石賞選考 ・ 2024 年度研究助成 (S) 最終選考 ・ 2024 年度研究助成 (A) (B) (C), 前期国際交流助成の選考 ・ 2024 年度の助成募集案内の審議
2 月	第 70 回理事会の開催 ・ 第 8 回立石賞候補の承認 ・ 2024 年度研究助成 (S) 採択候補の承認 ・ 2024 年度研究助成 (A) (B) (C), 前期国際交流助成採択候補の承認 ・ 2024 年度の助成公募案内の承認
3 月	第 71 回理事会の開催 ・ 2024 年度事業計画および予算の承認 ・ 助成研究成果集【第 33 号】(2024 年) 発行の承認 ・ 選考委員の選任 第 29 回評議員会の開催 ・ 2024 年度事業計画および予算の承認 第 8 回 (2024 年度) 立石賞受賞者決定のニュースリリース

2. 会 計

正味財産増減計算書
2023年4月1日から2024年3月31日まで
(単位：千円)

I 一般正味財産の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	253,125
②特定資産運用益	12,921
③受取寄附金	500
④雑収入	29
(2) 経常費用	
①事業費	253,728
②管理費	10,492
当期経常増減額	2,355
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	2,355
一般正味財産期首残高	5,505
一般正味財産期末残高	7,860
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	△ 6,015,000
指定正味財産期首残高	21,541,875
指定正味財産期末残高	15,526,875
III 正味財産期末残高	15,534,735

貸借対照表
2024年3月31日現在
(単位：千円)

I 資産の部	
1. 流動資産	
現金	114
普通預金	3,434
定期預金	0
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
投資有価証券	14,203,875
(2) 特定資産	
事業運営資産合計	1,100,000
事業積立資産合計	223,000
(3) その他の固定資産	4,312
資産合計	15,534,735
II 負債の部	
1. 流動負債	0
2. 固定負債	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
寄附金	1,100,000
寄附株式（オムロン株）	14,203,875
事業積立資産	223,000
2. 一般正味財産	
流動資産、その他固定資産	7,860
正味財産合計	15,534,735

2024 年度助成報告

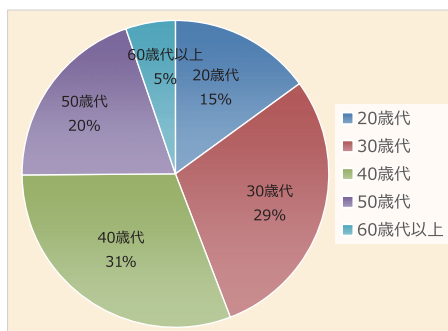
本年度の助成および顕彰は計画どおり、公募、選考委員会による選考、理事会の承認を経て下表のとおり行うことができました。2024 年 5 月 17 日に研究助成受領者を対象にした助成金贈呈式を行い、研究課題の共有をはかりました。

研究助成（S）	1 件	30,000 千円
研究助成（A）	35 件	102,978 千円
研究助成（B）	2 件	11,544 千円
研究助成（C）	16 件	18,672 千円
国際交流助成（前期）	13 件	8,022 千円
国際交流助成（後期）	13 件	7,173 千円
国際会議開催助成	10 件	9,700 千円
合計		188,089 千円

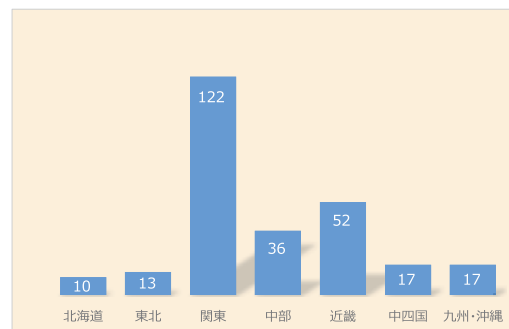
● 2024 年度助成の応募状況

(1) 研究助成（S）（A）（B）（C）

応募者年齢別割合

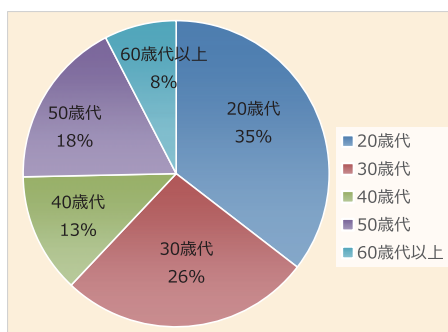


地域別応募件数

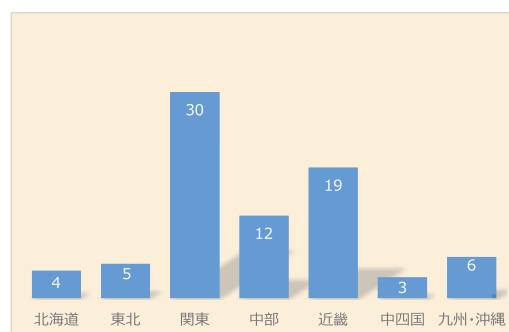


(2) 国際会議開催助成・国際交流助成

応募者年齢別割合

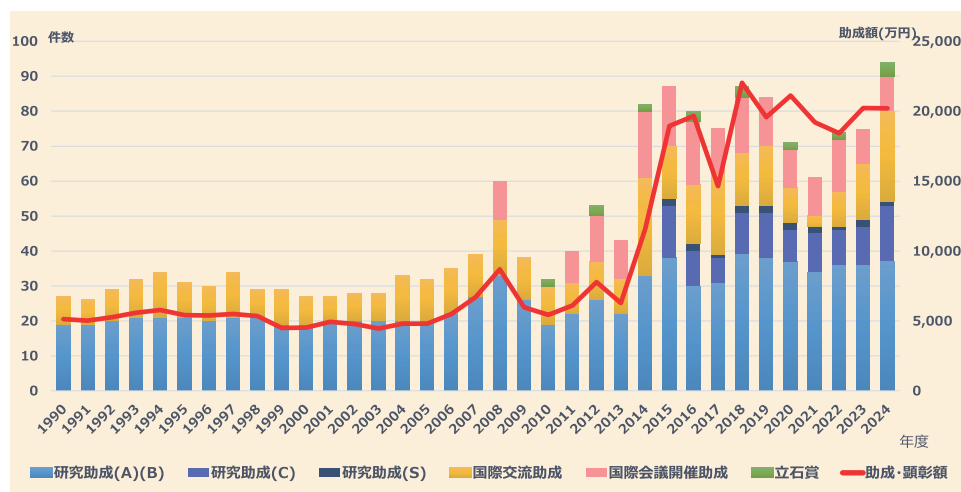


地域別応募件数

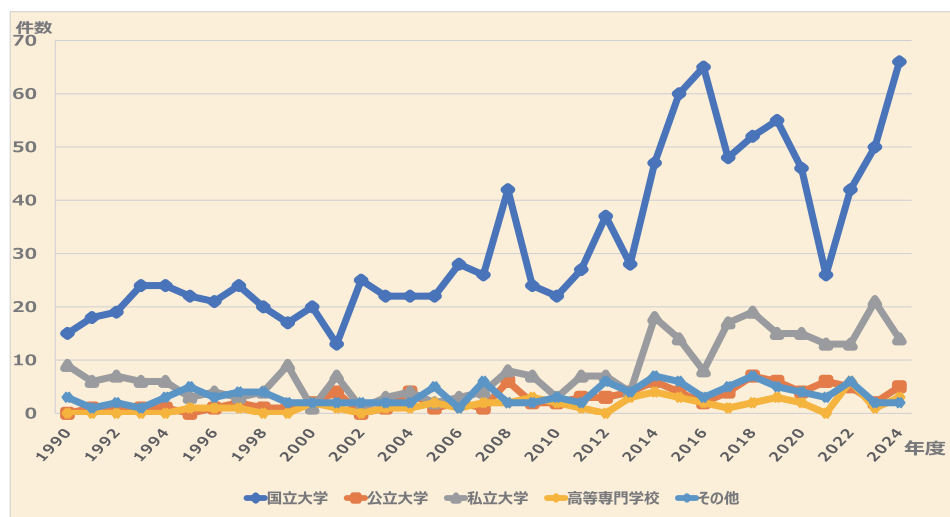


今年度の助成の結果、財団設立以来の助成・顕彰件数は研究助成 1,038 件、国際交流助成 429 件、国際会議開催助成 198 件、立石賞 21 件、合計 1,686 件、助成・顕彰金総額は 33 億 9,855 万円となりました。

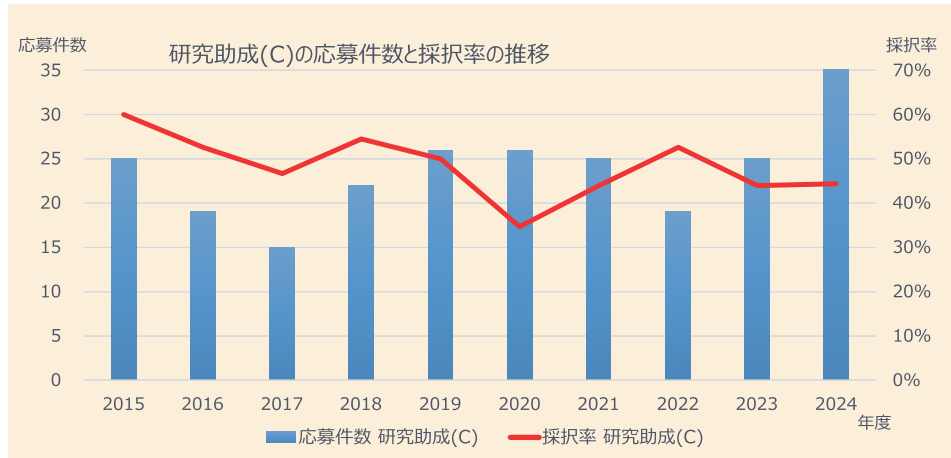
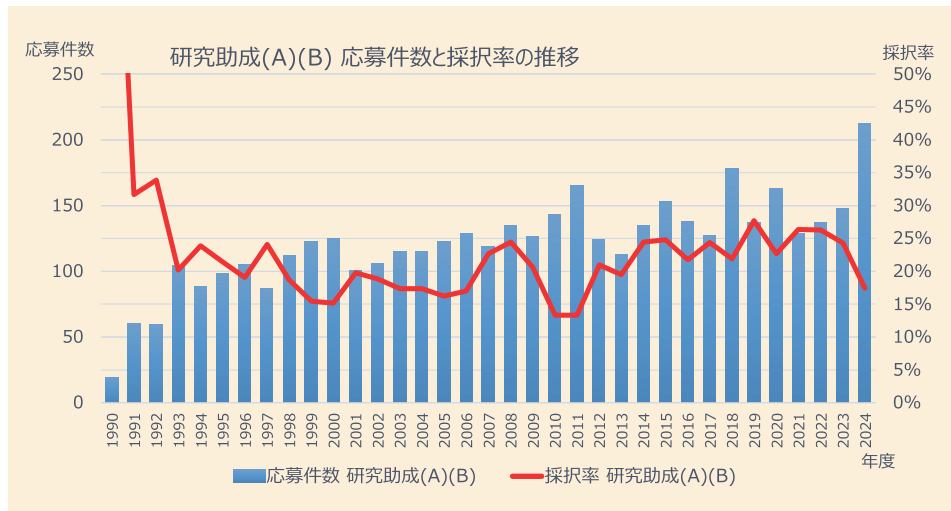
助成・顕彰件数と助成額推移



研究機関別の助成件数の推移



研究助成 応募件数と採択率推移



2024 年度助成金贈呈式

2024 年 5 月 17 日（金）15:00 から、オムロン株式会社 みやこホールの会場とウェビナー形式にて、2024 年度 助成金贈呈式を開催しました。会場には今年度の助成金受領者 54 名を代表した 4 名を招き、立石文雄理事長から今後の研究に対する期待を、樫木哲夫選考委員会代表から選考経緯を報告いただき、代表者に目録を授与しました。それぞれの助成金受領者はウェビナーから意気込みを発表し、研究課題の共有を図ることができました。



ウェビナー参加者、代表者を交えた記念写真

これからの研究で得られた成果は、毎年秋に開催予定の研究助成成果発表会にて共有を図り、人間と機械の調和を目指す研究者同士の連携を深めていきたいと思います。



立石理事長あいさつ



樫木選考委員会代表 選考経緯説明



研究助成 (S)
横浜国立大学 教授
馬場 俊彦 様



研究助成 (A)
産業技術総合研究所 研究員
藤井 綺香 様



研究助成 (B)
北陸先端科学技術大学院大学
教授 鶴木 祐史 様



研究助成 (C)
東京大学 大学院総合文化研究科
石川 慶一 様

2024 年度 研究助成課題一覧

【研究助成 (S)】

最大 3,000 万円(間接経費含む)／3 年を助成 研究期間：2024 年 4 月～2027 年 3 月

(五十音順)

No.	代表者氏名	所属・職名	研究課題
1	馬 場 俊 彦	横浜国立大学 工学研究院／先端科学高等研究院 教授	人とロボットの共生を可能にする光集積型 4D LiDAR センサ

申請件数：18 件，採択件数：1 件

【研究助成 (A)】

最大 250 万円(直接経費)を助成 研究期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	研究課題
1	李 信 英	山梨大学 大学院総合研究部工学域 助教	触診技術伝承を目指した耳小骨可動性計測訓練シミュレータの開発
2	石 井 佑 弥	京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授	無給電状態で静的および動的な圧力センシングが可能な編み手袋の開発
3	石 原 尚	大阪大学 大学院工学研究科 講師	高度な表現力を備えるアンドロイドの感性評価に基づく対人印象制御法の開発
4	市 川 健 太	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 助教	咬合力エナジーハーベスティングによるバッテリーレスマウスガード型デバイスの開発
5	猪 俣 武 範	順天堂大学 医学部眼科学講座 准教授	VR を用いた小児弱視訓練用プログラム医療機器の社会実装に向けた橋渡し研究
6	大 西 鮎 美	神戸大学 大学院工学研究科 助教	柔軟触覚センサによって浮腫の状態を計測するウェアラブルデバイスの開発
7	大 道 英 二	神戸大学 大学院理学研究科 准教授	オンチップテラヘルツ分光システムを用いたラベルフリーバイオセンシング
8	奥 田 裕 之	名古屋大学 大学院工学研究科 准教授	人間と機械の相互影響度の計量にもとづく他者への配慮の実現
9	尾 崎 公 美	浜松医科大学 放射線診断学講座 准教授	未病検知を目指した画像診断機器による臓器の生理機能評価及び加齢性機能低下の検証
10	加 藤 貴 英	豊田工業高等専門学校 一般学科 准教授	実現場での階段昇降動作データに基づいた転倒を検知するための機械学習的アプローチ
11	川 上 玲	東京工業大学 工学院システム制御系 准教授	基盤モデルに基づく手話対話システムの構築
12	北 村 知 也	東京理科大学 創域理工学部電気電子情報工学科 助教	EMS を用いた位置制御・力制御の統合アプローチと制御性能の評価
13	桐 本 光	広島大学 大学院医系科学研究科 教授	AI ロボットと迷走神経刺激によるデュアル・クローズドループ型手指機能訓練法の開発
14	金 太 一	東京大学 大学院医学系研究科医用情報工学 特任准教授	人間機械協調型複合現実融合技術を用いた手術支援基盤技術の開発
15	小 西 克 巳	法政大学 情報科学部 教授	災害現場での救援活動を支援する超小型 3 次元再構成センサの開発
16	斎 藤 寛 樹	東京工科大学 医療保健学部リハビリテーション 学科 助教	経皮的脊髄刺激による下肢筋協調パターンの変調：動作向上のニューロモジュレーション
17	助 川 信太郎	香川大学 医学部歯科口腔外科学講座 准教授	病理医が信頼を寄せる人協調型 AI 診断システムの開発

2024 年度 研究助成課題一覧

【研究助成 (A)】

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	研究課題
18	中 後 大 輔	関西学院大学 工学部知能・機械工学課程 教授	筋シナジーを用いた随意運動誘引手法による自発的動作に寄り添う正常歩行訓練装置
19	林 部 充 宏	東北大学 工学研究科 教授	Mixed Reality と慣性センサを用いた空間認知と運動機能の定量化システム
20	平 理一郎	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 准教授	全身体 BMI
21	平 井 宏 明	大阪大学 大学院基礎工学研究科 准教授	動的プリミティブの運動制御仮説に基づく歩行・走行への介入と訓練効果
22	福 田 篤 久	九州大学病院 小児外科 助教	AI 自動評価技術を用いた内視鏡手術技術の定量化と次世代教育システムの開発
23	藤 井 綺 香	産業技術総合研究所 人工知能研究センター 研究員	複合現実空間における漫符を活用したロボットによる自己表現生成 AI に関する研究
24	部 矢 明	名古屋大学 工学研究科 准教授	MRI・CT 画像下治療のための多自由度空圧ステッピングモータの開発
25	堀 井 辰 衛	東京工業大学 生命理工学院 研究員	高分子ゲル超薄膜を用いた指先に貼付可能な全貼付型触覚センサの開発
26	増 田 寛 之	富山県立大学 情報工学部知能ロボット工学科 教授	学習者の主体的な行動を促すグループワーク支援ロボットの研究
27	松 井 勇 佑	東京大学 情報理工学系研究科 講師	Advanced Vector DB：データ構造ドリブンな LLM 知識注入
28	宮 田 紘 平	東京大学 大学院総合文化研究科 助教	サイバー空間におけるラポール形成へ向けたシステム開発
29	森 健太郎	舞鶴工業高等専門学校 電気情報工学科 講師	身体的特徴のデータ解析による定量的技術評価・向上システムの開発
30	山 田 泰 之	法政大学 デザイン工学部システムデザイン 学科 准教授	光弾性を利用した力覚変色表示ソフトアクチュエータの研究開発
31	山 本 真 人	関西大学 システム理工学部物理・応用物理 学科 准教授	超低消費電力リアルタイム学習を可能にする二次元半導体光電子メモリの開発
32	横 山 光	東京農工大学 大学院工学研究院 准教授	微小針電極による超高密度脳波計測：脊髄損傷者の手指動作を脳波から高精度に解読する
33	葭 田 貴 子	東京工業大学 工学院機械系 准教授	ロボットアーム錯覚は可能か
34	吉 村 優 子	金沢大学 人間社会研究域 教授	RLHF を用いた自閉症児の個性に合わせた LLM の最適化と寄り添う対話ロボットへの実装
35	若 山 清 香	山梨大学 発生工学研究センター 助教	AI を用いた顕微授精アシストシステムの開発

申請件数：191 件，採択件数：35 件

2024 年度 研究助成課題一覧**【研究助成 (B)】**

最大 500 万円(直接経費)を助成 研究期間：2024 年 4 月～2026 年 3 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	研究課題
1	鷗 木 祐 史	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授	骨導デバイスを利用した聴覚拡張現実の実現
2	楊 期 蘭	東京大学 大学院情報学環 助教	Investigating the Effect of AI on Meaningful Interpersonal Communication

申請件数：21 件，採択件数：2 件

【研究助成 (C)】

博士後期課程の学生に年間 50 万円(直接経費)を助成 研究期間：2024 年 4 月～(最大 3 年間)

(五十音順)

No.	氏 名	所 属	研究課題
1	秋 山 久 遠	芝浦工業大学 大学院理工学研究科	事故が起きる未来を変えるマイクロモビリティのための多重未来マップ予測システム
2	秋 吉 拓 斗	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	高齢者向けの身体接触を伴うカウンセリングロボットの実現
3	阿 部 優 樹	北海道大学 大学院情報科学院	視覚障がい者のためのオンライン音楽ライブ向け動画視聴インタフェースの研究
4	安 藤 ゆうき	東京工科大学 医療保健学部	末梢血管の伝達関数である時定数の同定とその臨床応用
5	五十嵐 俊 治	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	高齢者の自然発話における特徴量を用いた認知機能推定手法の開発
6	石 川 慶 一	東京大学 大学院総合文化研究科	身体拡張技術発展に向けた義足歩行獲得を早める非侵襲脳神経刺激法の確立
7	伊 藤 実 央	埼玉県立大学 大学院保健医療福祉学研究科	エレクトロニクス技術を駆使した脳卒中者へのリハビリテーション介入基盤の確立
8	桶 川 大 志	東京大学 大学院総合文化研究科	努力知覚の変調による全力運動パフォーマンス向上法の開発
9	國 吉 佑 輔	電気通信大学 大学院情報理工学研究科	脳の神経回路構造に則した予測マップの構築とその機械学習への応用
10	黒 田 慧 莉	お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科	実世界における直観に反した運動の予測と言語生成
11	XUE XIAOZHONG	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科	深層学習を用いた OCT における網膜下液のセグメンテーションと黄斑浮腫早期診断
12	田 中 健 太	大阪大学 大学院工学研究科	人間機械系の能力向上に向けた情報変換器の普遍的設計論の構築
13	田 渕 史	京都大学 大学院工学研究科	iPS 細胞を用いた糸球体 MPS による高血糖，脂質異常症，高血圧の相乗効果の評価
14	中 田 匠 哉	神戸大学 大学院工学研究科	サービス動的個人適応に向けた対話型ユーザニーズ外化システムの研究開発
15	原 田 裕 生	同志社大学 大学院理工学研究科	高 MHz 帯域の強力超音波を用いた小型光流体レンズの開発とマシビジョンへの応用
16	吉 本 昂 希	京都大学 医生物学研究所 大学院生命科学研究科	荷重制御した周期的圧縮刺激を印加可能な骨一癌共培養装置の開発

申請件数：36 件，採択件数：16 件

2024 年度 国際交流助成一覧**〔前期国際交流〕****【国際会議発表】**

最大 60 万円(直接経費)を助成 実施時期：2024 年 4 月～2024 年 9 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	参加する国際会議	開催地
1	小 田 和 哉	摂南大学 大学院理工学研究科 博士後期課程	International Symposium on Flexible Automation (ISFA)	シアトル アメリカ
2	北 田 敦 也	京都大学 大学院工学研究科 博士後期課程	3rd Microphysiological Systems World Summit (MPS World Summit 2024)	シアトル アメリカ
3	木 下 史 也	富山県立大学 工学部情報システム工学科 准教授	HCI INTERNATIONAL 2024	ワシントン D. C. アメリカ
4	徐 雨 曾	千葉大学 大学院融合理工学府 博士後期課程	46th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	フロリダ アメリカ
5	神 野 莉衣奈	東京大学 大学院総合文化研究科 助教	International Workshop on Gallium Oxide and Related Materials (IWGO) 2024	ベルリン ドイツ
6	住 拓 磨	東北大学 材料科学高等研究所 助教	FENS Forum 2024	ウィーン オーストリア
7	竹 内 雅 樹	東京大学 工学系研究科 博士後期課程	46th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	フロリダ アメリカ
8	西 舘 嗣 海	千葉大学 大学院融合理工学府 博士後期課程	BioEM 2024 (医用生体電磁気学学会 年次大会)	クレタ島 ギリシャ
9	藤 崎 貴 也	島根大学 材料エネルギー学部 助教	2nd CEMDI Symposium	モントリオール カナダ
10	松 田 汐 利	神戸大学 大学院システム情報学 研究科 博士後期課程	Optica Imaging Congress	トゥルーズ フランス
11	宮 愛 香	北海道大学 北海道大学病院 糖尿病・内分泌内科 特任助教	米国内分泌学会 (ENDO 2024)	ボストン アメリカ

申請件数：20 件，採択件数：11 件

【短期在外研究】

最大 100 万円(直接経費)を助成 実施時期：2024 年 4 月～2024 年 9 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	研究課題	在留地域
1	末 満 堅 人	長岡技術科学大学 技術科学イノベーション 専攻 5 年一貫博士課程	運動学習補助に向けたロボット－人間の相互作用 神経メカニズムの解明	イギリス
2	Surantha Nico	東京都市大学 理工学部電気電子通信工 学科 講師	IoT ベースのヘルスケアシステムにおけるサイ バーセキュリティの課題の緩和に関する研究	シドニー オーストラリア

申請件数：5 件，採択件数：2 件

2024 年度 国際交流助成一覧

〔後期国際交流〕

【国際会議発表】

最大 60 万円(直接経費)を助成 実施時期：2024 年 10 月～2025 年 3 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	参加する国際会議	開催地
1	市 川 修 平	大阪大学 大学院工学研究科 准教授	12th International Workshop on Nitride Semiconductors (IWN2024)	ハワイ アメリカ
2	岡 田 瞬	長岡技術科学大学 先端工学専攻 後期博士課程	The 28th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences - Micro-Total Analysis Systems (μ TAS 2024)	モントリオール アメリカ
3	倉 元 昭 季	東京工業大学 工学院 助教	2025 IEEE/SICE Internaitonal Symposium on System Intergration (SII 2025)	ミュンヘン ドイツ
4	小 林 勇 斗	秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 助教	The 2024 Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society (IECON)	シカゴ アメリカ
5	鄭 仁 赫	東京大学 大学院総合文化研究科 博士後期課程	Esports Research Network Conference 2024 (ERNC 2024)	ロンドン イギリス
6	鈴 木 玲和那	東京大学 大学院工学系研究科 博士後期課程	PRiME 2024	アメリカ
7	田 野 直 輝	東京工業大学 科学技術創生研究院 博士後期課程	International Tissue Elasticity Conference (ITEC)	リヨン フランス
8	田 原 弘 宣	長崎大学 総合生産科学域 助教	Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid State Science 2024 (PRiME 2024)	ハワイ アメリカ
9	PROMKING ARPHORN	奈良先端科学技術大学院 大学 先端科学技術研究科 博士後期課程	Biomedical Circuits and Systems Conference 2024 (BIOCAS 2024)	Wyndham Grand Xian South China
10	村 松 淳 平	慶應義塾大学 大学院理工学研究科 後期博士課程	The 28th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (μ TAS 2024)	カナダ
11	兪 ハ ニ	東京大学 工学系研究科 助教	IEEE Sustainable Smart Lighting Conference (LS: 2024)	アイントホーフエン オランダ
12	Wang Xinfeng	山梨大学 大学院 後期博士課程	The 2024 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing (EMNLP)	アメリカ

申請件数：17 件，採択件数：12 件

【短期在外研究】

最大 100 万円(直接経費)を助成 実施時期：2024 年 10 月～2025 年 3 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	研究課題	在留地域
1	加 藤 萌 結	北海道大学 理学院 博士後期課程	新しい量子カゴメ反強磁性体の開発と単結晶育成	シュトゥットガルト ドイツ

申請件数：1 件，採択件数：1 件

2024 年度 国際会議開催助成一覧**【国際会議開催助成】**

最大 100 万円(間接経費を含む)を助成 実施時期：2024 年 10 月～2025 年 9 月

(五十音順)

No.	氏 名	所属・職名	開催する国際会議/申請者の役割	実施地
1	甲 藤 二 郎	早稲田大学 理工学術院 教授	IEEE Visual Communications and Image Processing (IEEE VCIP 2024)/組織委員長	早稲田大学 国際会議場
2	小 橋 昌 司	兵庫県立大学 工学研究科 教授	Joint 13rd International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 25th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2024)/現地実行委員長	アクリエひめじ
3	清 水 毅	山梨大学 工学部 教授	17th International Conference on Quality Control by Artificial Vision 2025 (QCAV2025)/実行委員長	山梨県立図書館
4	志 村 努	東京大学 生産技術研究所 教授	International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory 2024/組織委員長	アクリエひめじ (姫路市文化コンベン ションセンター)
5	本 谷 秀 堅	名古屋工業大学 情報工学科 教授	International Forum on Medical Imaging in Asia 2025 (IFMIA2025)/General chair	かがわ国際会議場
6	室 屋 晃 子	国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 特任研究員	The 22nd Asian Symposium on Programming Languages and Systems (APLAS 2024)/SRC・ポスター共同委員長	京都大学医学部・ 芝蘭会館
7	森 永 英 二	大阪公立大学大学院 情報学研究科 准教授	International Conference on Advances in Production Management Systems 2025 (APMS 2025)/プログラム委員長	鎌倉プリンスホテル
8	柳 井 啓 司	電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授	International Conference on Multimedia Modeling (MMM)/実行委員長	奈良春日野国際 フォーラム 莞 ～I・RA・KA～
9	山 田 繁	岐阜大学 工学部電気電子・ 情報工学科 助教	35th International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-35)/幹事	ブラサヴェルデ
10	山 本 裕 招	宇都宮大学 工学部基盤工学科 教授	第 31 回ディスプレイ国際ワークショップ (IDW'24)/プログラム委員長	札幌コンベンション センター

申請件数：33 件，採択件数：10 件

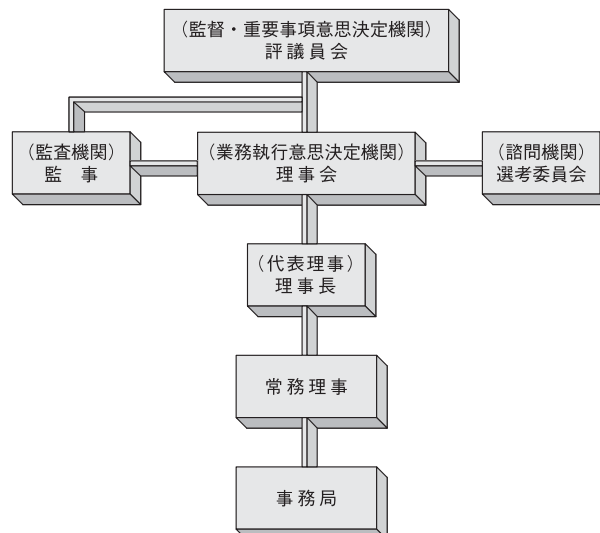
■ 財団の概要

■ 評 議 員 ・ 役 員 ・ 選考委員

財 団 の 概 要

- 名 称 公益財団法人 立石科学技術振興財団
Tateisi Science and Technology Foundation
- 所 在 地 〒 600-8234 京都市下京区油小路通塩小路下る南不動堂町 11 番地
TEL. 075 - 365 - 4771 FAX. 075 - 365 - 3697
URL : <https://www.tateisi-f.org/>
E-mail : info@tateisi-f.org
- 理 事 長 立石 文雄
- 設立年月日 1990 年 3 月 6 日
- 目 的 エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進する研究に関する活動を支援し、もって技術革新と人間重視の両面から真に最適な社会環境の実現に寄与することを目的とする。
- 事業内容 エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究に関する活動を支援する
 1. 研究への助成
 - 研究助成 (S) 3,000 万円/3 年, 2 件程度
 - 研究助成 (A) 250 万円以下/件, 30 件程度/年
 - 研究助成 (B) 500 万円以下/件, 2 件程度/年
 - 研究助成 (C) 50 万円/年, 10 件程度 (博士後期課程 最大 3 年間)
 2. 国際交流への助成
 - 国際会議発表 60 万円以下/件
 - 短期在外研究 100 万円以下/件
 - 国際会議開催 100 万円以下/件, 10 件程度/年

} 合わせて 20 件程度/年
 3. 研究成果に対する顕彰
 - 立石賞 功績賞 副賞 500 万円/件 2 件程度/隔年
 - 立石賞 特別賞 副賞 500 万円/件 2 件程度/隔年
 4. 研究成果の普及
 - 成果集の発行 1 回/年
 5. その他, 本財団の目的を達成するために必要な事業
- 基本財産 オムロン株式会社株式 2,625,000 株
- 特定資産 現金 11 億円
- 財団の組織



評議員・役員・選考委員

(2024年7月現在)

評議員

評議員	阿 草 清 滋	公益財団法人 京都高度技術研究所 副理事長 所長 名古屋大学 名誉教授
評議員	荒 木 光 彦	京都大学 名誉教授 松江工業高等専門学校 名誉教授
評議員	宇 治 則 孝	一般社団法人 技術同友会 代表理事 元日本電信電話株式会社 代表取締役副社長
評議員	立 石 真太郎	元オムロン株式会社 経営基幹職
評議員	中 鉢 良 治	東京情報デザイン専門職大学 学長 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 最高顧問 日本電信電話株式会社 社外取締役
評議員	土 屋 定 之	広島大学 学長参与 北里大学 参与 元文部科学事務次官
評議員	宮 田 喜一郎	オムロン株式会社 代表取締役 執行役員副社長 CTO
評議員	柳 田 敏 雄	大阪大学大学院情報科学研究科 NEC ブレインインスパイアードコンピューティング 協働研究所 所長 大阪大学大学院情報科学研究科/生命機能研究科 特任教授 国立研究開発法人 情報通信研究機構 フェロー (五十音順)

理 事

理事長	立 石 文 雄	オムロン株式会社 名誉顧問	非常勤
常務理事	來 海 雅 俊	オムロン株式会社 経営基幹職	常 勤
理 事	沖 村 憲 樹	国立研究開発法人 科学技術振興機構 名誉理事長 公益財団法人 全日本科学技術協会 理事長 元科学技術庁 科学審議官	非常勤
理 事	片 瀬 裕 文	I-Pulse Inc. Executive Vice Chairman & Director 日本 I-Pulse 株式会社 代表取締役社長 元経済産業審議官	非常勤
理 事	里 中 忍	熊本大学 名誉教授・特任教授 熊本ソフトウェア株式会社 監査役	非常勤
理 事	中 間 真 一	株式会社 ヒューマンルネッサンス研究所 エグゼクティブ・フェロー	非常勤
理 事	難 波 啓 一	大阪大学大学院生命機能研究科 特任教授 大阪大学 名誉教授	非常勤
理 事	西 田 豊 明	福知山公立大学 理事・副学長 東京大学 名誉教授 京都大学 名誉教授	非常勤
理 事	松 田 晃 一	元 NTT 先端技術総合研究所 所長	非常勤
理 事	山 田 啓 二	京都産業大学 理事長・法学部教授 公益財団法人 京都文化財団 理事長 前京都府知事	非常勤

(五十音順)

監 事

監 事	愛 知 菜穂子 (山 本 菜穂子)	弁護士（イリス法律事務所）	非常勤
監 事	尾 尻 哲 洋	税理士	非常勤 (五十音順)

選考委員

選考委員長	榎 木 哲 夫	京都大学 理事・副学長 京都大学 名誉教授	
選 考 委 員	北 澤 茂	大阪大学 大学院生命機能研究科 教授 国立研究開発法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究所 脳情報通信融合研究センター 研究センター センター長	
選 考 委 員	小 西 聡	立命館大学 理工学部 教授 バイオメディカルエンジニアリング研究センター センター長 先進研究アカデミー（RARA） フェロー	
選 考 委 員	杉 山 将	国立研究開発法人 理化学研究所 革新知能統合研究センター長 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	
選 考 委 員	諏 訪 正 樹	オムロン株式会社 執行役員 技術・知財本部 本部長 オムロンサイニックエックス株式会社 代表取締役社長	
選 考 委 員	長 井 志 江	東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構 特任教授	
選 考 委 員	畑 豊	兵庫県立大学 理事兼副学長 大学院情報科学研究科 教授	
選 考 委 員	松 永 信 智	熊本大学 大学院先端科学研究部 教授	(五十音順)

編集後記

本助成研究成果集は、当財団の助成研究成果普及事業の一環として毎年秋に継続発行しています。助成金受領者の皆様のほか、国立国会図書館、全国主要大学・研究機関ならびに同図書館等の約 1400 か所余に拝送させていただいており、今号で第 33 号を数えるに至りました。これもひとえに皆様のご支援の賜と感謝いたしております。

発刊にあたり、今回ご寄稿いただきました西田豊明理事、投稿文をお寄せいただきました北海道大学大学院 法学研究科 教授 小名木明宏様（2018 年度受領者）、兵庫県立大学 先端医療工学研究所 准教授 八木直美様（2015 年度受領者）をはじめ、編集にご協力いただきました研究者の皆様や関係各位に紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、今年も昨年に引き続き、研究室訪問を実施しました。順天堂大学 保健医療学部 准教授 高橋容子様（2020 年度受領者）の研究室を訪問し、高橋様のその後の研究についてご紹介いただくなど、有意義なディスカッションが出来ました。高橋様ならびに研究室のみなさまには、ご多用の中大変お世話になりました。

本助成研究成果集では、立石賞功績賞を受賞されました奈良先端科学技術大学院大学 理事・副学長 太田淳様、早稲田大学 理工学術院 教授 菅野重樹様、立石賞特別賞を受賞されましたカリフォルニア工科大学 教授 下條信輔様、情報通信研究機構 監事 土井美和子様の受賞記念講演概要をはじめ、この 1 年に研究を終了した 50 件の研究成果報告と、国際交流助成・国際会議開催助成 32 件の成果報告抄録を収録しております。研究成果および国際交流・会議開催の成果報告の詳細については当財団ホームページから閲覧可能ですので合わせてご参照いただければ幸いです。

取り巻く環境は、出口の見えないウクライナ戦争など、不安定な国際情勢と相まって研究環境は依然として厳しい状況にあると思います。原油高に加え円安基調が物価を押し上げ、研究費を圧迫し、直接的に影響を受ける国際交流助成では助成金を引き上げたものの様々な工夫をしながら研究活動をしていただいております。その努力に改めて敬意を表します。

このような環境の中、昨年に引き続き「研究助成 成果発表会」を開催します。人間と機械の調和を促進する研究成果を共有し、研究者同士の交流を通じた相互研鑽、人脈作りの一助となるよう企画、運営してまいります。

最後に、当財団の活動ならびに本誌に関する皆様のご意見などいただければ幸いです。

公益財団法人 立石科学技術振興財団 事務局

公益財団法人 立石科学技術振興財団
Tateisi Science and Technology Foundation
助成研究成果集 第 33 号
2024 年 10 月

発行 公益財団法人 立石科学技術振興財団
〒 600-8234 京都市下京区油小路通塩小路下る南不動堂町 11 番地
TEL 075-365-4771
E-mail: info@tateisi-f.org
https://www.tateisi-f.org/
印刷 明文舎印刷株式会社
〒 601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町 10
TEL 075-681-2741



https://www.tateisi-f.org/

（本紙の一部又は全文の掲載を希望される時は、当財団と研究代表者の許可を得てください。）